

## 40型大画面液晶ディスプレイ MultiSync® LCD-V404導入事例

## 株式会社ゾフ様

店舗数の増加により、各店舗へのポスター類の配付に様々な悩みが発生。  
デジタルサイネージの導入でポスターをデジタル化し、店舗でのオペレーションの負荷も軽減。



株式会社インターメディック  
新規事業室 室長  
野村 輝喜 氏



株式会社ゾフ  
ゾフ事業本部 店舗開発部  
店舗設計・施工管理チーム  
マネジャー  
武笠 大輔 氏

## 導入の映像デバイス

- 40型大型液晶ディスプレイ MultiSync® LCD-V404 × 98台
- イーゼルスタンド ST-45 × 98台 他



【Zoff原宿店】店舗の入り口に、人目を引きやすい40型大型液晶ディスプレイを設置。  
※LCD-V404は屋外向けではないため、天候によって設置場所を変更し、店内で使用



Zoff MART自由が丘店

# Zoff

## 株式会社ゾフ

所在地： 東京都港区北青山3-6-1  
オーク表参道6階

事業概要： 眼鏡のレンズ、フレームやサングラス、また眼鏡ケースやコンタクトレンズ関連の商品など、オリジナルのアイウェアの製造と販売を行っている。

URL： <http://www.zoff.co.jp>

## 事例のポイント

## 課題背景

- ・店頭に張り出す、キャンペーン情報などのポスター類を各店舗に配付していたが、店舗数の増加により、ポスターの掲示作業や管理のオペレーションが限界になっているため、デジタルサイネージで効率化したい。
- ・店舗共通のポスターでは対応が難しい外国語対応、店舗独自のキャンペーン情報など、店舗個別の対応を行えるようにしたい。

## 成果

- ・コンテンツはネット経由で本社から送付し、各店舗ではディスプレイに挿したSDカードのデータを入れ替える。店舗でのポスター張り替え作業がなくなり、効率アップ。
- ・表示するコンテンツは、デジタルデータのため、紙のポスターと比較してカスタマイズや変更が容易に。これにより、店舗ごとに表示する内容を変えたり、キャンペーンの延長などによる内容変更への対応も、タイムリーかつ楽に。

## 導入の背景や課題

### 店舗が多くなるにつれて、紙のポスターならではの悩みが増加

メガネやサングラスの店舗展開を行っている株式会社ゾフ（以下、Zoff）。究極のオフプライスを意味するアルファベット最後の文字「Z」と「Off」の組み合わせが、Zoffの社名の由来です。メガネをもっと買いやすくするために、メガネとフレームを組み合わせた金額を3段階に設定して、より買いやすい明瞭な金額で商品を提供することをコンセプトに、2001年に下北沢で1号店をオープンしました。サービスのなかでZoffが大切にしているのが、接客。「接客のレベルを上げる取り組みのひとつとして、社内でロールプレイング大会なども開催しており、もう7年になります。」（株式会社インターネットメスティック 新規事業室 室長 野村輝喜氏）チャレンジングな価格設定と丁寧な接客から、現在、国内店舗は220店を超えるまでに成長して

います。店舗数の増加に連れて課題となったことのひとつが、各店舗に掲示しているポスター類の配付でした。

「新製品の案内やキャンペーン情報などをポスターにして、壁に張ったり、イーゼルに載せたりするかたちで店内に掲示してきました。印刷したものを店舗に配送していましたが、150店舗を超えてきたあたりからオペレーションに限界を感じていました。」（野村氏）

ポスターは本社でデータを作成し、印刷、配送を経て店舗に届けられます。店舗数が増えてくると、地域によって届く日に差が生じ、新製品の告知では、製品が届いているのにポスターが未着といった事態も起こるようになっていました。またポスターの掲示作業は、店舗スタッフが接客の合間に行いますが、この作業が店舗の負担と

なっていました。加えて、ポスターの内容に変更があったり、情報が追加されたりした際に必要な対応も課題となっていました。

「キャンペーン期間の延長などがあった場合は、ポスターの修正が必要なので、上に貼る紙やシールを作成して印刷後、店舗に送付し、現場で切ってポスターの上に貼ってもらうという対応になっていました。」

店舗での手間がかかるだけでなく、手作業なので仕上がりに差がでることもありました。また以前使ったポスターを再度使うケースもあり、その場合は店舗で保管しておくなければなりません。もう一回張るように連絡しても、捨ててしまったとの返事が来たりしました。これらポスターに関する課題をデジタルサイネージの導入で解決したいと考えていました。」（野村氏）

## 選択のポイント

### 現場での運用がしやすく、静止画と動画がどちらも表示できるNECの40型ディスプレイを選択

そこでZoffが選択したのは、メディアプレーヤーを内蔵した40型LCD-V404でした。

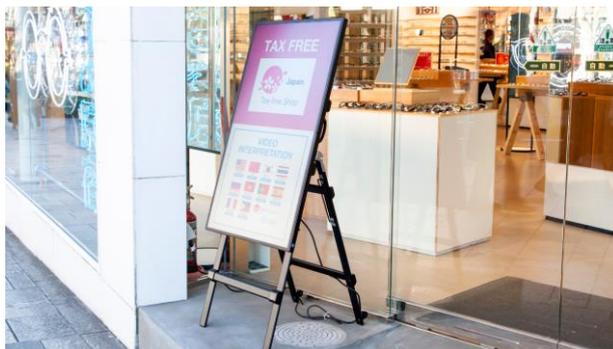
「NECのショールームで実機を確認しましたが、メディアプレーヤーを内蔵しているのが、店舗での運用が非常に楽だと思いました。また、他メーカーの製品と違って、静止画（jpeg）と動画（mpeg）と一緒に再生できるので、我々の伝えたいメッセージを打ち出すのに、幅広いコンテンツを表示できると考えました。」（株式会社ゾフ 事業本部 店舗開発部 店舗設計・施工管理 チーム マネジャー 武笠大輔氏）

設置はイーゼルスタンドST-45を使用するかたちに。当初、壁掛けでの運用を検討していましたが、店舗によって広さやレイアウトが異なり、壁の位置や柱の有無も変わるため、設置の自由度が高いスタンドでの運用となりました。

「非常にシンプルなデザインで、ベゼルが狭いのも魅力的でした。大きさとしては、ポスターのB1サイズくらい、大きすぎず小さすぎずというところで、40型を選びました。」（武笠氏）

2017年に導入の検討を開始し、まずはトライアルとして新規店舗に1台を導入。運用のしやすさや

効果を確認したところで、全国98店舗に展開し、現在はほとんどの店舗に導入が進んでいます。



【Zoff 原宿店】店頭で置かれたディスプレイでは、複数のコンテンツを表示。道行く人の目を引きつけて、足を止めてもらう効果も。

## 導入後の成果

### データ送付で全店へのコンテンツ展開がスピーディーに。店舗での運用も楽になり店員の負担も減少

デジタルサイネージの導入で、店舗へのポスターの配付方法は大きく変わりました。

「社内ネットワークでデータを提供し、それをSDカードにコピーして、ディスプレイに挿すだけでよくなりました。セール期間の延長など、内容に変更が生じた際にも、データの差し替えで済むので、店舗からは運用が楽になったということ、非常に喜ばれています。」（武笠氏）LCD-V404は画像や動画を再生できる機能が豊富なため、どのコンテンツを何秒間流すといった指定が細かくできます。そういった設定については、本社でマニュアルを作成し、各店舗に配付しています。

紙だったポスター類がデジタル化されたことで、店舗からの要望にも応えやすくなりました。

「全社で同じメッセージやポスターを出すことが多いですが、個別に変えたいときもあります。例えば原宿の東急プラザ表参道原宿店は、顧客の多くが外国籍の方です。そのため、メッセージを英語にした専用のポスターを作る必要があります。これがポスターならば、制作や印刷に手間がかかりますが、デジタルサイネージならばデータの変更で済むので、楽になりました。」

店舗個別のイベントや何周年記念のセールを開催するので告知したい、といったことにも対応できます。」（野村氏）

「ほぼ全店に導入できたので、今後はコンテンツ

の差し替えや表示時間帯など、本社側でハンドリングできるようにして、より店舗の負担を減らし、コンテンツ配信の効率化を進めていきたいと考えています。」（武笠氏）



【Zoff 新百合ヶ丘オーパ店】



【Zoff 池袋ショッピングパーク店】さらに大型ディスプレイを壁面に設置している店舗も。

### お問い合わせは、下記へ

NEC プラットフォームソリューション事業部  
〒211-8666 神奈川県川崎市中原区下沼部1753  
TEL : 044 (435) 1859  
URL : <http://jpn.nec.com/products/ds>